

## 平成21年11月27日 自治会長会 質疑応答及び結果

- 1 下水道事業について、国の行っている事業仕分けでは、地方に任せるといような方向であったが今後の動向はどうか。

財源の問題もあるが、考え方としては、今回の件に関し国からの報告も特にないため、現段階では地域の実情にあわせて計画どおり実施をしていく。

3年程度伸びるのではないか。

現在は事業仕分けの段階であり、来年は計画どおり実施していく。

- 2 下水道料金を500円アップすることについて、町はいままで本気で加入促進をしてきたのか。「加入者が少ない=使用料が入らない=財源がない」となることはわかっていたはず。事業先行で資金が汲々としてきたからではないか。

下水道整備段階で、事業区域内の地域、対象者に対し、説明、加入促進をしている。

料金の500円アップは決定なのか。住民に説明できない。

審議会の答申を受け、今後、条例改正(案)を議会に提案し、議会において議決されたら実施となる。町としての方向性は、今回、条例改正(案)を提案するということ。

起債について、長期のシュミレーションを行い、町報等により公表してほしい。

3年ごとに13%アップするシュミレーションを行いすでに公表している。13%アップ部分については、3年ごとに見直しを行うこととなる。

500円で賄えるのか。重要事項であり早く伝えてほしい。

- 3 資源ゴミなどの収集日を放送してほしい。

放送設備の更新に伴い平成21年4月に廃止をした。町報、ごみ収集日程表で確認をお願いしたい。

- 4 水とみどりの会に伴う交付金について、ハード事業で使えるよう国・県に要望してほしい。

金額の問題もあり、内容によってはハード事業に使えるものもある。相談をしてほしい。

5 除雪をしたあと車が通れない場所があるので、きちんとしてほしい。

県道の除雪について、同じところを2回とおるため、家の前を除雪してもまた積もってしまう。1回でしてほしい。

県は10cmの積雪で除雪を実施する。細かい部分は除雪困難であるため、ご迷惑をお掛けすることがあるが、ご理解をお願いしたい。

6 納税組合補助金見直しの予定とあるが、自治会においては来年の予算編成もあり、平成22年度の補助金はなくなるのか教えてほしい。

11月25日の納税組合理事会においてもいろいろな意見を伺った。今後、理事会へも報告する。町の考え方は廃止する方向だが、今後、2月には予算査定、3月議会に提案、議決を経て決定となる。

納税組合は解体か。 解散の方向である。

納税組合運営補助金については、納税組合への加入・未加入、口座振替があり、現実的に使いにくい補助金となっている。

納税組合補助金の見直し資料11について、納税率と納税組合、口座振替との関係や、口座振替率と納税組合での納税の関係などよく分からない。もっと具体的な数字で口座振替や納税組合での徴収の関係がわかるよう、また、廃止方針を具体的にわかるような資料としてほしい。

7 北栄町板事業仕分けや審議会の有識者、コーディネーターの氏名について、町の有利・不利があるかどうかがあるので、公表してほしい。

公表しているが、人事案件の場合は公表していない。

8 自治会で要望し実施することとなった事業を早急に実施してほしい。

努力し実施したい。

9 さつきヶ丘団地から要望のあった事項について

ゴルフ練習場からのボールの飛来対応について

弓原地内信号機を感知式にすることについて

建築基準等の規制制限はなし。民法上の安全性の確保から施設管理者と面会し、安全対策措置についてお願いをする。

現地の交通量等の状況から、現在の信号機の設定が、交通安全上より良い状況であると考えている。

- 10 ごみ袋、住宅用火災警報器の全戸配布があったが、役場から直接配布する方法へ検討してほしい。
  
- 11 大腸がん検診について、区民への説明、集金を健康推進員ですべて行った。町は自治会へ丸投げではないか。初めてであり、分からぬままに十分な説明を行うことができなかった。町は丸投げではないか。もっと町は積極的に関与すべきである。そのことによって、健康推進員、区民も安心できるのではないか。